



## 事前研修(6/3) 第3回事前研修

### 阿倍野防災センター ～「災害に備える」～

大阪市立阿倍野防災センターを訪問し、2時間のプログラムを体験しました。  
被災時に自分たちがまずできること、自助・共助について学ぶことができました。

- ・災害発生時の初期対応・初期消火
- ・実際の煙の中での避難体験
- ・災害発生後の街中での危険対応
- ・震度7体験



震度7の体験装置



煙の中の避難体験



阿倍野嶋屋で一休み

## 生徒たちの振り返り・感想

### 2年 徳見

今日、阿倍野で事前活動を行って見て、新たな知識が得られ、行って良かったと素直に思った。私は妹と津波についての話をしたときに「自分の住んでいる町に津波は来ないのか」と不安げに聞かれたことがある。そう聞かれ、私は「ここに津波が来たら、大阪はもうほとんど浸水しているね」と答えた。今思うと私にも大阪になんて津波は来るはずがないのだとどこかで思っていたのだと思う。しかし、南海トラフのような大きな地震を想定したムービーを見て、そうではないのだと気づかされた。思えば、東日本大震災の15メートルほどに及ぶ大津波は当時想定されていないものだった。自然は人の予想を上回ることがある。今まででもあったはずなのに、なぜか忘れてしまう大切なことに改めて気づき、危機感を持つことができた。もしものことがあったとき、「こうすれば良かった」ではなく、「念のためこうして良かった」と思えるよう、常にその考えを頭に入れておこうと思う。まずは親戚に津波の危険性について伝えてみようかなと思った。

### 2年 佐伯

阿倍野防災センターは、人と防災未来センターとは違って「楽しみながら震災を学ぶ」という側面が強かったように感じた。いずれ来るだろう南海トラフ地震に備えて、様々な取り組みをしているんだというのを自分のからだで体験しながら学ぶことが出来た。例えば「煙は上に上がるから姿勢を低くして避難する」というのはただ教えられるだけでは煙は上に行くんだっけ？下に行くんだっけ？と分からなくなってしまうかもしれないが、実際に煙の中を進んでみたら目の前が全く見えない恐怖も、煙を吸い込む苦しさも絶対に忘れないだろう。だからこそ実際に体験するということが本当に大事なんだと思った。

南海トラフ地震再現VTRでは、十分に備えをしていなかったり、知識が不十分であったりするせいで逃げ遅れて、被害に遭ってしまっていたので今日学んだ、火を消して、ブレーカーを落として、窓やドアを開けて逃げ道を確保するなどの適切な行動を、実際被災した時に冷静に行えるようになりたい